

平成 31 年度 教員免許状更新講習 シラバス

講習 番号	10	講習名	【選択】ことばへの気づきを促す英語アクティブ・ラーニング				
担当講師	開催地	時間数	主な受講対象者	受講人数	講習形式	試験方法	
馬本 勉 河村和也	庄原キャンパス	6 時間	小学校教諭, 及び中学校・ 高等学校英語科教諭	30人	講義 演習	筆記	
開催日	8月3日(土)		予備日	8月9日(金)			
【到達目標】 ・授業を改善する視点と方法を理解し, 具体的な実践をイメージできる。 ・アクティブ・ラーニング型の授業方法を理解し, 実践できる。							
【講習の概要】 小学校外国語活動(英語科授業), 中学校・高等学校英語科授業の改善に資する理論と, 実践のヒントを提供する。アクティブ・ラーニングを取り入れた講義・演習を通じて, 受講者が自らの授業を振り返るとともに, 新しい授業創りへの道筋を探る。具体的な教材を用いた演習の時間を設け, 学び手としての気づきを促す。							
【講習の内容】 講義 1: 音声・文字指導のヒント(担当: 河村 和也) 無意味な音の連続が意味をもった言語の音声になり, 文字がほかの絵や図形と区別されるようになるのはなぜだろう。このことを理解したり体験したりすることは, 学習者の「ことば」への気づきを促すきっかけともなろう。小学校に英語が導入され, 音声や文字の指導について議論が交わされる今, あらためて音声と文字とは何か, 問い直してみたい。 講義 2: 文法・語彙指導のヒント(担当: 馬本 勉) 英語習得過程にある学習者(の頭の中)の「文法」と「語彙」をいかに豊かにし, 使えるようにするか。その方法の一つとして, フレーズを中心とした指導法 Lexical Approach について理解を深める。具体的には, 英英辞典やマインドマップを用いて「ことば」への気づきを促し, ペアやグループ練習によって運用力を高める方法を検討したい。 講義 3: コミュニケーション能力を高める授業作りのヒント(担当: 馬本 勉・河村 和也) 音声や文字情報だけではなく, 映像や文化的な情報を組み合わせながら, 異文化間のコミュニケーションを深める方法を学ぶ。教師自身が様々なメディアから情報を収集する方法や, それを学習者に的確に伝える方法についても考えていく。さらに, 学習者のコミュニケーション能力を高める授業を組み立てる工夫について, 実践的に学ぶ。 講義 4: ワークショップ「アクティブ・ラーニングで英語力をつける授業のヒント」 (担当: 馬本 勉・河村 和也) このワークショップでは, 「アクティブ・ラーニング型の英語授業」と「確かな英語力の養成」をどう両立させるかをテーマに, 受講者の実践レポート, グループディスカッション, プレゼンテーションを行う。県立広島大学庄原キャンパスの全学共通教育英語授業における実践の成果と課題も紹介しながら, 議論を深めていきたい。							
【備考】 試験の際, 講義テキストとノートの持ち込みを認める。							